

公表 事業所における自己評価結果

事業所名	児童発達支援・放課後等デイサービス LUMOBIO		公表日	2020年 2月 19日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		安全に行えるようにけが防止の備品を取り付けている	より良い安全性を考えながら物の配置を検討していく	
	2	利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。		○	ヘルプを呼んでいる	本部と連携を取り改善していく	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構成化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		マットにテープ等で目印を貼りわかりやすく環境を整えている	トイレのドアノブを直すことなどにもわかりやすく対応できるように工夫していく	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		日々の清掃で窓の拭き取りをしながら取り組んでいる	暑すぎる、寒すぎるといった問題にすぐに対応できるようにしていく	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。		○	緊急時に異動に備えているスペースに移動させることができる		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参加しているか。		○	回答なし。	目標設定を可視化し職員全員が取り組めるようにしていく	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		モニタリング調査を半年に一度行っている		
	8	職員の意見を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。		○	回答なし。	把握する機会を作り意見交換をする	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	回答なし。	外部に評価を行っていない。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		原始反証、補助の仕方の研修を行っている		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○				
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を具体的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。					
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最適な利益を考慮した検討が行われているか。	○		支障会議等で話し合いをしながら共有している		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		支障会議等で話し合いをしながら共有している		
	15	こどもの過去の行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○			原始反証チェック表を使って行動状況確認している	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び実施内容を踏まえながら、こどもの状態に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○				
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		セッションに入る前にスタッフで話し合いをしている		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		利用者によって原始反証に基づきながらメニューを作成している		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適切に組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。		○	回答なし。	集団行動が主な支援になっているので本部と連携を取りながら検討していく	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して実施を行っているか。		○	安全性を確保できるように話し合いをしている		
	21	支援終了後は、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点を共有しているか。	○		利用者の様子から行動を分析しながら共有している		
	22	日々の支援に関して記録をとるとを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○				
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○				
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	○				
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定を力をつけるための支援を行っているか。	○		利用者のレベルに合わせて難易度を調整させている		
	関係機関や連携者の連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参加しているか。	○		児童参加が参加している	
		27	地域の警察、消防（土佐区や消防団等）、障害福祉、教育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。		○	教育上の対応とできる限り協力関係が築かれている関係を持っている	
		28	学校との連携共有（年間計画、行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（遠征時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		LINE等で日々確認している	
		29	緊急時に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。		○		
30		学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供するなどしているか。		○	回答なし。	事例がないが、あれば検討していく。	
31		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや指導員研修を受けられる機会を設けているか。	○			研修を受ける機会もあるが、スーパーバイズはできていない	
32		放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		○	回答なし。	子ども同士での連携は取っていない	
33		（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。		○	回答なし。	参加していない。	
34		日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	○		日々フィードバックにて共有している		
35		家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		自宅でも取り組める運動等、伝えている		
保護者への説明		36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもと保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点から、こどもや保護者の意向を確認する機会を設けているか。	○				
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○				
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、適切な必要な助言と支援を行っているか。	○		モニタリング調査や電話での問い合わせに対して職員同士で共有しながら取り組んでいる		
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		○	回答なし。	本部と連携を取りながら設ける機会を検討する	
	41	こどもと保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		その時の状況を速く整理し職員に職員に共有しながら対応している		
	42	定期的に連絡等を行うことや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		ブログの更新を常に行っている		
	43	個人情報取扱いに十分留意しているか。	○		契約時に適切に保護者に説明をしている		
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。		○			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を行っているか。		○	回答なし。	地域に対し、事業運営を行っていない。	
非常時の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防災マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。		○	回答なし。	作成はしているが訓練は入っていない	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		避難訓練を数回、利用中で半年に1度行っている		
	48	事前に、家族や予約保護、てんかん発作等のこどもの状態を確認しているか。	○		契約時に適切に保護者に説明をしている		
	49	食中毒アレルギーのあるこどもについて、医師の指示に基づき対応がされているか。		○	契約時に適切に保護者に説明をしている		
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分な中で実施が行われているか。	○				
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく数回内容について、家族等へ周知しているか。	○		避難訓練をしていることをブログやフィードバックで周知している		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。		○	大なり小なり事故につながる可能性がある事例について連絡のりて職員がヒヤリハット報告書を作成している。ひと月に3枚以上のペース。		
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。		○	校舎内で児童発達支援の下、虐待防止研修を実施している。		
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、事前に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		契約書面に記載。契約の際に詳細をご説明し、ご理解いただいた上でご署名をいただいている。		